

第2回検討委員会における主な意見とその反映状況

資料2

意見（要旨）	反映状況等
SDGsに関する記事を盛り込んだうえで、施策等との関連性を示してはどうか。	序論－5 全国の森林・林業・木材産業の現状と課題－（4）近年の主なトピックに掲載しました。
普及啓発の具体案として、プラットフォーム型のナビ（森ナビ）を導入してはどうか。	基本計画－市民がつくる小田原の森－の詳細施策に具体的に実施する事業として盛り込みました。
小田原産木材を使うメリットを記載すれば、市民に分かりやすいのではないか。	本編の策定に合わせて発行する小冊子（概要版）にて、分かりやすく記載します。
基本計画－市民の安全・安心を守る小田原の森－鳥獣害対策「マダニ」のところにルビを振り説明を加えてはどうか。危ないダニであることを説明すべき。	用語集に記載します。
普及啓発として、森の仕組みを科学的に説明する副読本みたいなものを作ってはどうか。	本編の策定に合わせて、小冊子（概要版）を発行する予定です。
製材所や大工の数を調べて、課題等を分析してはどうか。	製材所等の数は、資料編に掲載する予定です。
ゾーニングは、環境林と経済林というような一つの分け方ができる。上流下流という言い方が分かりにくければ、流域というような一つの単位を作ってはどうか。	ゾーニングについては、アジア航測にて検討中であり、当事業をもとにして今後議論していきます。
レクリエーション、都市との問題について。健康、教育、観光というところが段階で具体化してくれればと思う。	本ビジョンに基づき、都市部との交流を進めていく中で、基本計画内の健康、教育、観光に係る施策を組み合わせ実施していきます。
学校や公共施設全体で、どのように木材を使用していくのか、明記していただきたい。	学校木の空間づくりモデル事業に関する記事を盛り込み、事例紹介をしながら今後の木材利用に生かしていくことを明記しました。
基本計画－市民がつくる小田原の森－小田原産木材の活用－詳細施策－1 公共建築物等への活用 「積極的に小田原産木材の利用を働きかけるほか」という記載があるが、「小田原産木材を利用する」と断定的にできないか。	今後、担当部署等と協議していきます。
基本計画－市民の安全・安心を守る小田原の森－森林の有する公益的機能の発揮－現況と課題 「森林整備を担う森林・林業技術者は全国的に～」の記載に関し、そこから下（木材産業、建築業など）も含めて表現いただきたい。	当該箇所にいただいた意見を盛り込みました。
基本計画－市民の安全・安心を守る小田原の森－森林の有する公益的機能の発揮－詳細施策－3 おだわらの森林を守り、育てる人材の確保・育成 木材産業者に関する記載も盛り込んでほしい。	当該箇所にいただいた意見を盛り込みました。
森は何のためにあるか、経済的に自立しないと循環していかない等、経済的な視点での記載が抜けている。	「はじめに」で「森を使う」ことについて明記しました。
皆伐という言葉が出てこない。主伐の必要性についても盛り込むべき。	「はじめに」の「森を使う」で伐ることを明記しました。
シカだけではなく、イノシシも入れるべき。	基本構想と基本計画－市民の安全・安心を守る小田原の森－鳥獣害対策において、イノシシを加えました。
基本計画－市民の安全・安心を守る小田原の森－森林の有する公益的機能の発揮－現況と課題 「放置され、荒廃した竹林の増加拡大は、土砂崩れなど新たな・・・」の土砂崩れの前に「生物多様性が失われるばかりでなく」という言葉を入れてはどうか。	当該箇所にいただいた意見を盛り込みました。
基本計画－市民の安全・安心を守る小田原の森－鳥獣害対策 「また、今まで神奈川県ではほとんど確認されていない感染症を媒介するマダニ類を・・・」の記載が分かりにくいため、「また、今まで神奈川県ではほとんど確認されていなかった日本紅斑熱などの感染症を媒介するマダニ類の増殖が認められることから、ニホンジカやイノシシ等の生息頭数を減少させることが急務となっています。」に修正してはどうか。	当該箇所にいただいた意見を盛り込みました。
基本計画－市民の安全・安心を守る小田原の森－鳥獣害対策 山ビルに関する記載も少し入れてもらえると、知名度が高くなるのではないか。シカの問題もそこに並行して記載できと思う。	当該箇所にいただいた意見を盛り込みました。
基本計画－市民の安全・安心を守る小田原の森－鳥獣害対策 シカ対策について、周辺市町や県などとの連携（広域連携）に係る記載を盛り込めないか。	当該箇所にいただいた意見を盛り込みました。
山の恩恵を受け水不足になったことがない。このありがたさを市民にもっと伝えるべき。	序論 4 小田原を支える森林の多面的機能（1）水源のかん養 にいただいた意見を盛り込みました。
地産地消については、市民に使う事を促す文を入れてはどうか。	「はじめに」に森を使うことについて明記しました。また、本編の策定と同時に発行する予定の小冊子（概要版）においても、ご意見を反映したいと思います。
基本計画－市民の安全・安心を守る小田原の森－森林の有する公益的機能の発揮－目指す姿 「幼齢から壮齢まで様々な年齢から・・・」との記載について、壮齢を老齢に修正してはどうか。	当該箇所にいただいた意見を盛り込みました。
林相図に関して、広葉樹を「落葉広葉樹」と「常緑広葉樹」に分けて記載いただきたい。	林相図については、資料編に掲載予定で、その際広葉樹の種類を分けて記載します。
溪畔林に対する説明が必要であると感じる。（溪畔林には広葉樹が適している理由、溪畔林の役割など）	溪畔林については、用語集に記載予定です。
広葉樹林への転換をはじめ、森づくりを円滑に進めていくための仕組み（権利関係の課題解決）を検討すべき。	本編策定後、専門的に議論を進めていきたいと思っています。
基本計画－多くの人が交流する小田原の森－森林空間利用 森林セラピーみたいなものを取り入れてはどうか。	基本計画－多くの人が交流する小田原の森－森林空間利用において、保健・医療機関等との連携を示しました。
基本計画－多くの人が交流する小田原の森－都市部との交流 森林体験等のツールをパッケージングしてもらいたい。（今まではボランティアでやっていたが、有料化するなど。）	基本計画－多くの人が交流する小田原の森－都市部との交流において、ツアーのパッケージングに関して記載しました。